

にじいろフレス Vol. 26

今月のテーマ 【オススメのあそび紹介】

発行 2022.10.1



学育事業部 志村坂下小あいキッズ

【若木小あいキッズ】

～え！チームでUNO勝負！？～

UNOの基本的なルールは変えずに、3つのチームに分かれて対戦しています♪ルールが分からない子には教えながら、チーム全員が早くあがることを目指します。『+2』や『+4』のカードで隣のチームに大量にカードがいくように仕掛けたり、仲間が先に上がるように予想してカードを出し合ったり。先に上がった子は仲間を応援しながら、最後は「UNO！」の連発で笑い合っていました♪



【大谷口小あいキッズ】

～大富豪大貧民 ※トランプじゃないよ～

子どもたちに人気のカードゲーム『大富豪大貧民』！どのカードをいつ出すか…考えながら1番を目指して楽しんでいます！「おっ！勝てそう」「負けるかも…」「いける！」手持ちのカードを見比べながら大盛り上がりです。

ゲームの役は覚えるものが多いで大変ですが、1枚ずつ内容が書いてあるので分からなくても大丈夫！1年生から6年生まで学年問わず、輪になって楽しんでいます♪



【志村第六小あいキッズ】

～白熱！！バスケットボール～

コロナ感染予防の制限が緩和され、ボール遊びが思いっきり出来るようになった志六小あいキッズでは、毎日のように校庭でバスケットボールの試合が行われています！

ボール遊びがおもいっきり出来るようになったことで異学年交流が活発になるきっかけになっています。下級生が上級生に果敢に挑む姿は、ボール遊びの醍醐味!?これを機に子どもたちには、たくさんチャレンジの機会を提供していきたいです。



【志村第四小あいキッズ】

～ソインゴポインゴ～

円形の足場に大きめのラグビーボール？ドッチボール？が付いていて、そこからゴムの紐が伸びた先にグリップが付いた不思議な見た目の遊具が徐々に人気が出てきています。

足場に乗って、グリップを握ってバランスをとりながら飛び跳ねて遊びます。体重制限は80kgまでなので子どもは当然、大人でも余裕です。固定遊具で遊ぶ事が多かったのです、レパートリーが増え、遊びの幅が広がりました。



志四小では通称「ぼよんぼよん」です。

【志村坂下小あいキッズ】

『人間将棋』

どの学年の子どもたちからも人気なのは【人間将棋】です。2チームに分かれ、王様がジャンケンをしめます。勝ったチームの駒（人間）が一步ずつ動いて、相手全員か王様をタッチして倒せたら勝ちです。

勝敗を分けるのは、運と相手の動きを見る観察力！相手の位置を確認して「勝ったぞー！せーの」で相手に近づくのか離れるのか見極めが大事。劣勢な戦局でも、王様が勝ち続けていれば逆転勝利もあります。自分がやられても最後まで目が離せません♪

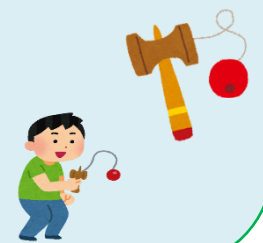


【江東きっずクラブ豊洲四丁目】

～けんだマスターにオレはなる！～

6月の検定月間でけん玉に取り組んだ後は、けん玉で遊んでいるのはいつも決まった子だけでしたが、夏休み頃から、職員の影響や上手な子に憧れて“Newけん玉Player”が増加中♪

検定月間中には、挑戦をしていなかった子が『もしかめ』の練習を始め、今では何と大技の一つ『逆落とし』ができるようになった子もいます！どんどん上達してきている子どもたちに、職員も負けてはられないので日々練習中です。



【志村第二小あいキッズ】

～ボールとドッジビーの夢のコラボ【ポビー】～

『ポビー』とは子どもたちが創作した遊びでドッジボールとドッジビー（複数のボール等を同時に使う）を使って遊びます。低学年の子でも投げる機会が多く、集団遊びでは子どもたちからも人気で、必ずリクエストに挙がります。

ふとした隙を狙って低学年が高学年を当てることもあり、そういった時には周囲から大きな歓声が上がります。次に子どもたちがどんな遊びを考えてくれるか楽しみです♪



【上板橋第二小あいキッズ】

『しっぽ食い蛇』

上二小では毎月“世界の遊びにチャレンジ！”というイベントを行っています。今回は1～6年生までが白熱した中国の『しっぽ食い蛇』を紹介します！

ルールは簡単♪3人ずつのチームで先攻後攻を決め、写真のように繋がって1匹の蛇となりスタート！頭の子が、相手チームであるしっぽの子を制限時間内にタッチできれば勝ちです。鍵となるのはチームで動きを合わせること！上二小では全員参加で行い、なんと上位入賞は低学年の子ばかりでした！



先攻 VS 後攻

